

六中 学力向上に対する取組

本校では学力向上を達成するために、様々な取組を行っています。一つ目は、中学3年生を対象とした受験対策の「スタディ・アシスト」です。家庭教師のトライグループと提携し、1年間に24回、6割以上の生徒が参加しています。二つ目は「ステップアップクラス」です。ステップアップクラス支援員の方が定期考査前や長期休業中に全学年を対象に補習教室を実施しています。三つ目は、「教育活動支援」です。教育活動支援員の先生2名が基礎学力向上のために、理解不足の生徒の個別指導を実施しています。このように、第六中学校では、学力を向上させていくために頑張っています。(佐藤正和)



スタディ・アシスト



ステップアップ・クラス



教育活動支援

おそき保育園 12月発表会

12月10日(火)祖父母の会、12月14日(土)発表会がおそき保育園ホールにて行われました。各クラス、その年齢ごとに練習を重ねてきました。0歳児クラスの子は、お客様の多さに驚いてしまいましたが、泣くことなく笑顔を見せてくれました。大きいクラスの子は、緊張が伝わってきましたが、大きな声で歌ったり、みんなで音やリズムを合わせて合奏したり、劇や遊戯もそれぞれ頑張ってくれました。一つの大きな行事に取り組み、みんな少したくましくなった姿を見せてくれました。(天野恵利子)



高齢者クラブ 富岡愛宕会

富岡愛宕会は小曾木地区にある高齢者クラブの一つです。会員数は約60名と小規模なクラブです。昭和36年(1961年)に発足したと資料にありますから、今年で58年を迎えることになります。主な活動は、毎週土曜日のグラウンドゴルフ練習、毎月第2木曜日のカラオケの練習があります。富岡地区にあります老人ホーム、社会福祉法人博仁会との交流は、当クラブの特徴といえます。毎月第3木曜日は博仁会との合同カラオケ練習となります。グラウンドゴルフの練習成果は、青梅市高齢者クラブ連合会主催の大会、小曾木地区高齢者クラブ連合会主催の大会で発揮されます。このほかに、七夕祭り、敬老福祉大会、お彼岸のお墓参り、などの楽しい行事があります。しかし、どこのクラブも抱えていると思われる問題があります。それは会員の減少、高齢化です。より一層魅力ある高齢者クラブにして、若い人たちを勧誘したいと考えています。(石井博章)



ヤマメの飼育体験教室

昨年、11月13日(水)の飼育体験教室に22名の子供たちが参加し、発眼卵を3粒ずついただきました。学校や自宅の冷蔵庫で育て、ふ化した後に校舎東側の玄関の水槽に移しました。現在、2cm~4cmほどに育った約150匹のヤマメは元気に泳ぎ回っています。昨年度は、ふ化する前に卵の段階で死んだり、ふ化した後も水槽の中で死んでしまったりする稚魚が多く、放流するときは30匹ほどになってしまい、大変残念な思いをしました。今年度は、この悲しい経験を踏まえて、子供たちが卵の段階から毎日のように水替えをしたり、水槽の浄化ポンプを増やしたりするなど、水質管理を徹底しました。その結果、ほとんどの卵がふ化し、水槽の中でもすくすくと大きく育つことができました。3月11日に、子供たちが育てたヤマメを黒沢川に放流しました。3月2日から3月15日まで臨時休校となったため、学童保育に来ている子供たちと職員で行いました。みんなで「無事に大きく育ってほしい」と願いながら、放流しました。(古川恵一郎)

